

**NOUVEAUTÉ
EN
NOUVELLE AQUITAINE**

**ヌーヴェル・アキテーヌ地方
最新トレンド**

先取り情報

**2023-24
プレス資料**



© Stéphane CHARBEAU - Perry Martin

© Vert Bordeaux

ヌーヴェル・アキテーヌ地方 14の観光地



オービュッソン、宮崎駿の空想世界を織る
© Cité International de la Tapisserie d'Aubusson



シテ・デュ・ヴァン © alban gilbert



バイヨンヌの生ハム © Laurent_Reiz CRTNA (Pierre Oteiza)



リモージュの磁器 © G Villegier-CRTNA -JL Coquet

目次

- 4 数字で見る
ヌーヴェル・アキテーヌ地方
- 5 2023-2024年のトピック
- 6 大規模イベント
 - 6 屋外イベント
 - 7 美食
 - 9 文化
- 11 躍動するヌーヴェル・アキテーヌ
のブドウ畑
- 14 サステナブルツーリズム
- 16 ボルドーのカヌレ
- 17 職人の技
- 18 宿泊施設



数字で見るヌーヴェル・アキテーヌ地方

面積**84,061 km²**

フランス

最大の地方

(北海道とほぼ同じ大きさ)

フランスの
ワインツーリズム*で

1番人気の旅先

2018年の旅行者数

680万人

コロナ前の

年間旅行者数

3,200万人以上



ドルドーニュ川流域
© Alban Gilbert CRTNA



ラスコーの洞窟 © Dan Courtice

パリからTGVで

2時間

(パリ-ボルドー間) **

56軒のミシュラン
星つきレストラン

16件の

ユネスコ世界遺産***

32の「フランスの
美しい村」登録村

* 「ボルドー・ワイン旅行、魅力的なブドウ畑」(Bordeaux Wine Trip, Irrésistible vignoble) は、ボルドーのブドウ栽培地における観光サービス・商品をあつめたリファレンス・マークです。このマークは、ブドウ畑に関わる人々やそのサービス・商品のプロモーションを、地元レベル・国内レベル・国際的レベルでおこなう、まさに旗印です。あなたの滞在を最高のものにしたいと願う800以上の業者が参加しています。

** ボルドーを中心に、ビアリッツ (Biarritz)、サルラ (Sarlat)、リモージュ (Limoge)、アングレーム (Angoulême)、コニャック (Cognac) を結ぶ地方内の鉄道網があり、移動が容易です。

*** ユネスコ世界遺産：月の港ボルドー (Bordeaux Port de la Lune, Jurisdiction de Saint)、サン・テミリオン地域 (Jurisdiction de Saint-Emilion)、ヴェゼール渓谷の先史的景観と装飾洞窟群 (Sites préhistoriques et grottes ornées de la Vallée de la Vézère)、サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路に登録の遺跡 (sites classés parmi les Chemins)、ユネスコ生物圏保護区のドルドーニュ川流域 (Vallée de la Dordogne réserve biosphère mondiale)、ユネスコ無形文化遺産のオービュッソンのタペストリー (Tapisserie d'Aubusson patrimoine culturel immatériel de l'Humanité)、ユネスコ創造都市のリモージュ (Limoges ville créative)。



2023-2024年のトピック

📍 オービュッソン (Aubusson)



© S Lafaye - CRTNA

宮崎作品がタピスリーに

オービュッソン国際タピスリーセンター (La Cité internationale de la tapisserie à Aubusson) は日本のアニメ・スタジオ、ジブリと協定を結び、宮崎駿監督の映画作品から選んだ場面から5枚のタピスリー作品を製作することになりました。

ギヨ工房 (l'Atelier Guillot) が1年かけて織り上げた「オービュッソン、宮崎駿の空想世界を織る」(L'imaginaire de Hayao Miyazaki en tapisserie d'Aubusson) プロジェクトの4枚目の壁掛けタピスリーが、2023年6月16日にお披露目されました！

『ハウルの動く城』の場面からとられたこのタピスリーは、高さが3m、幅が5.6mあります。

[詳しくはこちら](#)

📍 ボルドー (Bordeaux)



© Culturespaces
Nuit de Chine

バッサン・デ・リュミエール「フェルメールからゴッホへ：オランダの巨匠たち」展 (Les Bassins des Lumières : de Vermeer à Van Gogh – Les Grands Maîtres Hollandais)

2024年2月16日～

2020年に潜水艦基地の跡地にオープンした世界最大のデジタル・アート・センターが、フェルメールからゴッホまで、オランダの巨匠たちの作品世界の没入体験にあなたをいざないます。

2024年には、色彩の建築家モンドリアンを取り上げる短期間の展覧会も開催予定です。

[詳しくはこちら](#)

📍 ニオール近郊エシレ (Échiré, près de Niort)



エシレバターがショップをオープン！

© coopérative laitière de la Sèvre

エシレバターが一流品にふさわしい店舗を開設しました。ドゥ・セーヴル県 (Les Deux-Sèvres) ニオール近郊のエシレ村の乳製品加工場に隣接するコンセプト・ショップ「アトリエ・ド・レクセランス」(L'Atelier de l'excellence、卓越のアトリエ)です。2022年10月27日にオープンしました。

グルメガイドの星つきレストランや高級ホテルのほとんどが、料理で使ったり、テーブルで提供したりして、顧客にエシレバターを出しています。また、エシレの有名なカゴ入りバターは、パリやニューヨーク、ロサンゼルス、東京の高級食品店で販売されています。

[詳しくはこちら](#)

📍 ドルドーニュ県 (Dordogne)



ドルドーニュが舞台のビデオゲームが発売

© un je ne sais quoi umanimation

ボルドーのスタジオ、アン・ジュ・ヌ・セ・クワ (Un Je ne sais quoi) のインディーゲーム「ドルドーニュ」は、全編水彩画によって描かれた風景による、やさしく独特なアート・ディレクションが私たちを魅了するゲームです。

このゲームを通して、ペリゴール地方 (Périgord) の手つかずの自然が際立つ風景を知ってください。

[詳しくはこちら](#)



大規模イベント

屋外でのレース、アクティビティ

📍 **ボルドー近郊メドック (Médoc, près de Bordeaux)**

メドックマラソン (Marathon du Médoc)

2023年9月2日

最高にお祭り気分なマラソンを見に来てください。そして、ポイヤック (Pauillac) の川辺から出発する仮装した大のスポーツ好きたちを応援してください。ランナーたちは、楽しい雰囲気の中、美食をテーマにメドックのブドウ畑を駆け抜けます。数キロごとに、ポイヤック (Pauillac)、サン・ジュリアン (Saint-Julien)、オー・メドック (Haut Médoc)、サン・ステフ (Saint-Estèphe) のアペラシオンの有名ワイナリーが、ランナーに門を開いています。マラソンの運営者は3日間にわたり、川辺や市街地でイベントやゲームを企画しています。



[詳しくはこちら](#) [開催地近くのホテルはこちら](#)

📍 **ニオール-マレ・ポワトゥヴァン近郊
サンセ (Sansais, près de Niort –
Marais Poitevin)**

ル・ニウ・マレトン (Le Niou Maraisthon) 2024年6月



B Le Bouette © CRTNA

観光と環境への配慮がひとつになったスポーツイベントです。来て、走って、素晴らしい環境の中で行われる、フランス初のネイチャー・マラソンを体験してください。スポーツと自然、観光を織り交ぜた今までにないレース。ランナーにとっても同伴者にとっても、独創的で本格的な環境にやさしいレースです。

全参加者向けプログラム：自然村、さまざまなレース、11kmまたは16kmのウォーキング、10kmレース、オーガニック朝食、ペアリレーマラソン。

[詳しくはこちら](#)

📍 **ボルドー近郊アルサク (Arsac, près
de Bordeaux)**

レ・フレ・デ・ヴィニユロン (Les Foulées des Vignerons) 2023年10月15日



© Mano Maurice

ボルドー市から北に数キロのアルサクでは、熱狂的な支持を集めるレ・フレ・デ・ヴィニユロンというレースが毎年開催されています。スポーツ・料理・チャリティのイベントであるレ・フレ・デ・ヴィニユロンには、あらゆる年齢の人たちが、たったひとつの目標のために集まります。それは、楽しい時間を過ごすこと！ スポーツがあまり得意がなくても、問題ありません！ 合計6つのさまざまなコースが運営側によって用意されています。

[詳しくはこちら](#) (フランス語のみ)

ボルドー地方のお城でのランチとピクニックについては、[こちら](#) (フランス語のみ)



大規模イベント

📍 ドルドーニュ川流域 (Vallée de la Dordogne)

美食

サルラのトリュフ祭り (Fête de la Truffe de Sarlat) 2024年1月20日～21日

毎年1月半ば、ペリゴール・ノワール・トリュフ生産者連合 (le Groupement des Producteurs de Truffes du Périgord Noir) と観光局、サルラ市 (la ville de Sarlat) は、トリュフにスポットライトをあて、私たちの味覚を最高に楽しませてくれます。料理教室や醸造学教室も。サルラに来たら必ず行きたいイベントです！



トリュフ市場とは：毎年、ペリゴール・ノワールのトリュフ生産者が、トリュフ祭りの際にサルラに集結します。

プログラム：最高品質の製品が売られる土日開催の受賞歴のある市場。市場には受賞歴があり、初心者でも適正価格で高品質の製品が確実に購入できるよう、すべてが管理され、監督されています。

[詳しくはこちら](#)



© Laetis-CRTNA

ラスコーでのトリュフの週末 (Weekend Truffes à Lascaux)

トリュフ……その名前を聞くと、ほかの何ものとも違う、香気と風味が思い出されます。ペリゴールのトリュフは世界的に高い評価を受けています。トリュフづくしの特別な週末を満喫し、有名なこのキノコについて知ってください！ コラリーとニコラがホスト役、ジャン・マリーがガイド、ジュリーとバンジャマンが腕利のシェフを務めます。暖かく、人間的でおいしい冒険を冬の間中お楽しみください。

[詳しくはこちら](#)



大規模イベント

美食

📍 バイヨンヌ (Bayonne)



© B. Bloch-CRTNA

バイヨンヌのハム見本市2024 (Foire au Jambon de Bayonne 2024) 3月28日~31日

バイヨンヌの生ハム見本市は、1462年からバイヨンヌで開催されています。毎年、バイヨンヌの生ハムコンクールがおこなわれます。豚肉をさまざまな形に加工する地元生産者たちに会うことができる機会です。街には楽しい雰囲気溢れ、バイヨンヌのお祭りを体験できます。

📍 バスク地方レ・ザルデュード (Les Aldudes, Pays basque)

バスク豚を知る一日

レ・ザルデュードに到着したら、お店で山岳部のバスク豚の養豚「発見の小道」(sentier découverte)の地図を入手し、杖を持ってしっかりと靴を履いて、1時間の散策に出発です。

散策から戻ったら、バスク豚の母豚が子豚を見守る子豚農場の前に座って、レ・ザルデュード渓谷の生ハム (le Jambon de la vallée des Aldudes) やAOPキントア豚の生ハム (le Jambon de Kintoa AOP)、ソーセージ、チョリソー、ドライ・サラミを味わってください。非日常を感じることも間違いなしです！

おいしいお料理とたっぷり具を載せたタロ (talos、トウモロコシと小麦のクレープ)の試食が提供されます。部屋にある試食メニューをご覧ください。

お持ち帰りできる生ハムとソーセージ、チョリソー、フォワ・グラなどの盛り合わせを売店でご用意しています。

[詳しくはこちら](#)

📍 バイヨンヌ (Bayonne)



リベルテ広場で行われる
バイヨンヌ祭り©CDT64

バイヨンヌ祭り (Fêtes de Bayonne)

2024年7月10日~14日
(2024年はオリンピックのため日程を前倒し)

1932年に誕生したバイヨンヌ祭りは、この地方を代表する大規模なお祭りです。この5日間、白い服に身を包み、赤いスカーフを結ぶのが、お祭りの参加者「フェステール」(festayres)たちの毎日の習慣になります。彼らは昼も夜も続くお祭りを、情熱的に、敬意をもって体験しに来るのです。

[詳しくはこちら \(フランス語のみ\)](#)



大規模イベント

文化

📍 ドルドーニュ川流域 (Vallée de la Dordogne)

ドルドーニュお城祭り (Châteaux en Fête - Dordogne)
2024年4月13日～23日
(ペリゴール地方のお城1001選関連イベント)

この必見のイベントでは、家族や友達と一緒に文化・教育・スポーツ・美食に関わる楽しんで遊び心あふれる特別な体験をすることができます。豪華なお城や城館、邸宅などなどが公開され、モニュメントの周りではすばらしい活動やイベント、お祭りが開催されます！

[詳しくはこちら](#) (フランス語のみ)



@ Déclic&Décolle

📍 ニューヴェル・アキテーヌ地方全域 (la Nouvelle-Aquitaine)

ランデ・ヴー・オ・ジャルダン
(庭で会いましょう、Rendez-vous aux Jardins)
2024年5月31日～6月2日 (毎年6月初めに開催)



マルケサックの空中庭園
Best jobsers © CRTNA

毎年フランス中の2200以上の民間および公共の公園と庭園が公開され、さまざまなアクティビティをおこないます。公園や庭園オーナー、専門家（植物学者、園芸家、造園家、各種団体など）との出会い、ガイド付きツアー、五感を刺激する散策や自然の中での散策、職人技のデモンストレーション、庭園見学、音楽散歩、ゲームやコンクール、演劇などが用意されています。

2023年のテーマ：「庭の音楽」
2024年のテーマ：未定

[詳しくはこちら](#)



大規模イベント

文化

📍 **アングレーム (Angoulême)**



アングレーム国際漫画祭

(Festival international de la bande dessinée d'Angoulême) 2024年1月25日～28日

アングレーム国際漫画祭はフランス最大の漫画イベントです。展覧会、サイン会、パフォーマンスやコンクールなど盛りだくさんのプログラムで、毎年1月、アングレーム国際漫画祭はおよそ20万人の来場者を受け入れています。漫画祭は街全体で開催されます！ ぜひ、アングレーム旧市街の石畳の道を歩き回って、漫画をたたえるストリートアートを楽しんでください。

[漫画祭については詳しくはこちら](#)

[観光については詳しくはこちら](#)



アングレームの城塞
© OT Angoulême



アングレーム市内の壁画
© OT Angoulême

アングレーム (Angoulême)

アングレームの街は城塞に囲まれた高台の上であり、シャラント川 (la Charente) の湾曲部を見下ろしています。白い石造りの瓦屋根の家々が、この芸術と歴史の街に南仏のような雰囲気を与えています。石畳の古い道が絡み合い、わずかな陽光に活気づいています。市庁舎とその2つの塔は、アングレーム伯の昔の城から引き継いだものであり、ロマネスク芸術の至宝**サン・ピエール大聖堂** (la cathédrale Saint-Pierre) とともに、このヴァロワ家の都市アングレームの豊かな歴史を伝えています。中世の時代からその紙の質の高さで知られたアングレームは、こんにち、1月に盛り上がりを見せる国際的に知られた漫画祭と30作近い壁画のおかげで漫画の中心都市となりました。

[詳しくはこちら](#)



躍動するヌーヴェル・アキテーヌの ブドウ畑

📍 ボルドー (Bordeaux)



ワイン作りについての展示 © ANAKA_Cite du Vin_Agence Clémence Farrell_Ich&Kar_The Mill_Ilusio



© ANAKA_Cité du Vin_Casson Mann_Maud Martinot_Sim&Sam

シテ・デュ・ヴァンが常設展示を刷新 (Nouvelle exposition permanente à la Cité du Vin)

ボルドーのワイン博物館シテ・デュ・ヴァンが、2016年の開館以来初めて常設展示を大幅に見直しました。展示のレイアウトやデジタル設備、マルチメディア作品など、新機軸を盛り込むことがねらいです。

シテ・デュ・ヴァンでの体験の中心となる常設展示では、デジタル技術と双方向技術によって、時代を超え、大陸を超えたワインの偉大な冒険を体験することができます。歴史、風景、ブドウの文化、醸造学、生活様式など、18のテーマ別エリアでワインのさまざまな側面を発見してください。

[詳しくはこちら](#)



ボルドーワイン祭り (Bordeaux Fête le Vin) が、2023年から毎年開催されることになりました。ボルドーとその地方の見逃せないイベントです。

2024年6月27日～30日、ガロンヌ川の河岸で開催。たくさんのワインが展示される、試飲や試食もできる感動でいっぱいの多彩なプログラムでお待ちしています！

[詳しくはこちら](#)

📍 コニャック (Cognac)

コニャック祭り (Fête du Cognac) 2024年7月27日～29日

コニャック祭りは、コンサートと地元のお酒を組み合わせたお祭りのような楽しいイベントです。三夜にわたりシャラント川の河岸は活気でいっぱいになります。

[詳しくはこちら \(フランス語のみ\)](#)
[観光情報はこちら](#)



© Stéphane Charbeau



躍動するヌーヴェル・アキテーヌの ブドウ畑

📍 サン・テミリオン (Saint-Emillion)



Château Fleur de Lisse ©Julien
Empereira

サン・テミリオン・グラン・クリュのシャトー・フルール・ド・リス (Le Château Fleur de Lisse) は、2023年、権威ある「ベスト・オブ・ワイン・ツーリズム賞」(International Best Of Wine Tourism Award) を受賞しました。

この賞は、アルゼンチンのメンドーサで開催された偉大なワイン醸造地ネットワーク (le Réseau des Capitales de Grands Vignobles) の年次会議で授与されたもので、ワインツーリズム愛好家にとってのボルドーの地の質の高さとおもしろさが認められたものです。

サン・テミリオンの中世都市から5キロ、ブドウ畑のまん中で、キャロリーヌ・テシュネと彼女のスタッフがあなたを迎え、オーガニック農法とビオディナミで作られたワインの試飲をしながら、楽しいひと時にご一緒します。シャトー・フルール・ド・リスは、確信と技術を融合した醸造室を持ち、持続可能な開発の取り組むワイナリーです。シャトー・フルール・ド・リスの醸造所は、見学やワークショップ、ワインバー、ペタンクなど、年間を通して多様なイベントを開催し、さまざまな経験ができるように設計されています。

[詳しくはこちら](#)

📍 サン・テミリオン (Saint-Emillion)



Chateau de ferrand @Guillaume de Tapol

シャトー・デュ・フェラン (Château de Ferrand)

シャトー・デュ・フェランは、サン・テミリオンに位置する歴史ある地所で、その起源は18世紀に遡ります。ここ3世紀の間は、2つの家族のみが、この城を所有してきました。現在はポーリーヌとフィリップのシャンドン・モエ夫妻 (Pauline et Philippe Chandon-Moët) が所有する領地は、以前、ビックポールペンやライター、カミソリの発明で有名な実業家ビック男爵 (Baron Bich) が所有していました。1978年、ビック男爵はこの領地を手に入れ、ブドウ園の品質の向上に貢献しました。2005年、娘のポーリーヌが領地の指揮を取るようになり、夫のフィリップとともに、生産機械の近代化に向けて、2010年から大規模な投資を開始しました。

滞在について：サン・テミリオンから数キロに位置するシャトー・ド・フェランは、ボルドーのブドウ畑のまん中で、オーダーメイドの滞在を提供します。2019年にデザイナーのパトリック・ジュアン (Patrick Jouin) とサンジット・マンク (Sanjit Manku) によって全面リノベーションされました。客室のエレガントで暖かみのあるインテリアや公園、庭園、菜園をお楽しみください。

レストラン、ターブル・ド・フェラン (la Table de Ferrand)：滞在中、シャトー・デュ・フェランでは、お城のプライベートな食卓で夕食を食べることができます。18世紀の邸宅の食堂と居間をご堪能ください。女性シェフのマリリン・マドレが季節のお料理であなたを夢中にさせます。うっとりするような環境の中で、家族や友人と過ごしたいグルメなひとときです。

[詳しくはこちら](#)



躍動するヌーヴェル・アキテーヌの ブドウ畑

📍 ボルドー・アントル・ドゥー・メール
(Bordeaux Entre-deux-Mers)



ボルドーから40分。アンリ・ド・トゥールーズ・ロートレックが休暇に来ていた邸宅で過ごす夢のようなひととき

もとはアンリ・ド・トゥールーズ・ロートレックの実家であったシャトー・トゥールーズ・ロートレックは、アントル・ドゥー・メール地区にあります。ここはまさに、歴史に彩られ、生物多様性に富んだ生活の場です。画家ロートレックにとってもそうだったように、手つかずの自然の中にあるシャンプル・ドット（民宿）で1泊あるいは長期滞在すれば、活力を取り戻し、創造性を養うことができるでしょう。見学（ワイン醸造、文化、特別な見学、体験を最高のものにするパスなど）、レストラン（ランチ、ディナー、ブランチ）、マッサージ、ヨガ教室、森林散策など1年中おこなわれるさまざまなアクティビティをお楽しみください。いろいろなお楽しみを取り揃えています！

滞在について：シャトー・トゥールーズ・ロートレックでは、ロートレックのミュージズたちミシア、シュザンヌ、ルイズ、カルメン、メイにちなんだ、5つの快適で広々とした客室を用意しています。自分の別荘に滞在しているような、リラックスできる雰囲気と、洗練されたインテリアの中で、美食、観光、ワインティスティング、ヨガクラスを楽しみながら、ゆったりとしたひとときをお過ごしください。

[詳しくはこちら](#)

📍 サン・テミリオン (Saint-Emillion)

シャトー・モンラベール (le Château Montlabert) のワインツーリズム

サン・テミリオンのワイン生産地の中心部に位置するグラン・クリュ・クラッセ、シャトー・モンラベールには石と光とブドウ畑の風景が広がっています。シャトー・モンラベールのオーナー・カステル家 (Castel) とワイン醸造の歴史は1850年に遡ります。シャトーでは、おもてなしの技が磨かれてきました。オーナー一家が、さまざまな体験型観光を通して、ワインツーリズムの忘れられない体験をしてもらいたいと考えるのもこの歴史ゆえのことです。一家の領地の時間と土地が伝える感動を味わい、土地の魅力とその隠された歴史を堪能してください。シャトー・モンラベールは責任あるワイン作りを保証する認証マーク「テラ・ヴィティス」(Terra Vitis) を取得しています。



[詳しくはこちら](#)



サステナブルツーリズム



コニャック (Cognac)

1724年以来、メゾン・ド・コニャック・レミー・マルタン (la Maison de Cognac Rémy Martin) は、卓越した仕事を続けてきました。



© Stéphane CHARBEAU – Rémy Martin

同社はグランド・シャンパーニュとプティット・シャンパーニュの2つのプルミエ・クリュ（一級畑）の中心に位置し、「地に足をつけて夢想する」ケンタウロスのシンボルマークをつけたフィーヌ・シャンパーニュ・コニャックを生産しています。300周年を迎える2024年を前に、コニャック造りのより正当でより持続可能なヴィジョンのために、同社は社会的・環境的責任への取り組みを始めました。ゲストの受け入れも、当然この哲学に沿ったものです。メゾン・レミー・マルタンは、コニャックのラインナップと、古くから伝わるノウハウをを知らせてもらうために、さまざまなアプローチを採用しています。

テーマ別の10のプログラムでは、ワイン畑の散策やテイスティングのワークショップ、レミー・マルタンのコニャック「レイ18世」のテイスティング・セレモニーなど、ほかにはない体験をすることができます。レミー・マルタンは、ジュイヤック・ル・コック (Juillac-le-Coq) の畑に、持続可能な交通手段のためのエコ・サービス・ステーション「ビュル・ヴェルト・スロー・エクスプロアレイション」(Bulle Verte Slow Exploration) を受け入れています。ここは、電動時電車でグランド・シャンパーニュの畑を散策する出発点でもあります。石灰岩の多い風景を通りながら、ブドウが植えられた斜面や、農村の遺跡（風車や支石墓、ロマネスク教会、村々など）の素晴らしい眺めを見晴らすことができます。コースの途中には、地元産食品の試食ができるグルメポイントがあり、コニャック「テルセ」(Tercet) の試飲も楽しめます。

[詳しくはこちら](#)

[見学についてはこちら](#)

ビュル・ヴェルト (la Bulle Verte 全国ネットワーク。ヌーヴェル・アキテーヌ地方に22か所) は、ソフト・モビリティを中心に考案されたエコ・サービス・ステーションで、興味深いスポットを訪れるさまざまなコースを提案しています。

ある土地を知るのにぴったりなソリューションであり、コースを進みながらオリジナルのコンテンツを体験することができます。ヌーヴェル・アキテーヌ地方へのオーダーメイドの旅行を作り出す「**マイ・プライベート・フレンチ・トラベル**」(My Private french travel) は、ビュル・ヴェルトと協力し、環境に配慮した方法で、リラックスのための週末、チームビルディング、ワイン街道やコニャック街道での滞在など、オーダーメイドのブドウ畑観光や滞在を提案しています。

[ビュル・ヴェルトについてはこちら](#)

[マイ・プライベート・フレンチ・トラベルについてはこちら](#)

LA
BULLE
VERTE

EXPLORATION TRANQUILLE

@ Château Guiraud
Clémence Planty
Guiraud en bicyclette



ボルドーのカヌレ

📍 ボルドー (Bordeaux)



カヌレの小さな歴史

カヌレはボルドーの美食の象徴です。その起源ははっきりしませんが、この地方に深く根ざしたものです。特徴的な材料は、バニラとラム酒、卵黄（卵白は地元のワイン作りに使用されます）で、ガロンヌ川の河口と縁のある食べ物です。もっともよく言われるのは、ボルドーのお告げのマリア修道会の修道女たちが、ガロンヌ川の河岸で手に入る材料と使って、現在のカヌレの元となる「カヌラ」（canelats）を作ったという言い伝えです。修道院はフランス革命で消滅しましたが、カヌレはより厳密なレシピと形で19世紀に復活しました。20世紀には、ボルドーのお菓子屋さんに欠かせないデザートとなり、1985年には、ボルドー・カヌレ組合（Confrérie du Canelé）が結成されました。組合の目的は元々のレシピを守り、「n」ふたつの綴り（canelé）ではなく、「n」ひとつの綴りのカヌレ（canelé）の伝統が継承されるようにすることです。ボルドー発祥のお菓子だからといって、なぜ「n」ひとつでcaneléと綴るのでしょう？ この綴りは1985年に導入されました。その狙いは、AOCのようにボルドー発祥であることを保証することです。つまり、「n」ひとつで綴られるカヌレは、必ずボルドーで作られたものなのです。



カヌレ・クルーズ (Croisière les Canelés) : クルーズ会社レ・バトー・ボルドレとカヌレ会社バイヤルドラン (Baillardran) は、ガロンヌ川でのユニークなクルーズ体験を提案しています。ボルドーの歴史と美食を発見するクルーズです！ シリウス (Sirius) 号に乗って、ツアー・ガイドによる最新の文化解説を聞きながら、ボルドーのカヌレを試食します。

[詳しくはこちら](#)



ボルドー・スウィート・アンド・ディスカバリー・ツアー (Bordeaux sweet and discoveries tour) : ボルドー観光局が提供するボルドーの歴史の中心地をめぐるガイド・ツアー。カヌレを含む4つの特産品の試食つき。

[詳しくはこちら](#)



宿泊施設

2023年～2024年オープンの7施設



ラ・ロシェル—レ島 (La Rochelle – Ile de Ré)



@atalante-relais-thalasso

ルレ・タラソ・イル・ド・レ (Le Relais Thalasso Ile-de-Ré) 心地よさと持続的発展の融合

ビーチ（ラ・ロシエルの向かい、レ島南部）から650メートル、5ヘクタールの公園内にある、タラソセラピーとスパのセンターです。2020年から環境への責任を果たすことを目指して取り組んできました。このようにして同施設は、環境と海洋により配慮したアプローチを行うため、たくさんのアクションを展開してきました。具体的には、地熱システムをとくに利用したマリリン・センターの全面改修、企業の社会的責任のための取り組みの構造化、低炭素戦略の策定などをおこなっています。

[詳しくはこちら](#)（フランス語のみ）

ドルドーニュ川流域 (Vallée de Dordogne)

ペリゴール地方の中心地、ドメヌ・ド・ロシュボワ (Le Domaine de Rochebois) に5つ星ホテルがオープン

サルラ・ラ・カナダ (Sarlat-la-canéda) から6kmに位置するドメヌ・ド・ロシュボワは、2つの邸館を持つ19世紀の優雅な邸宅です。ロシュボワ・ゴルフ場の中心部という特別な場所に建つこの5つ星ホテルには、シックでくつろいだ雰囲気のある客室およびスイート・ルームが40室、美食レストランと眺望が楽しめるテラス・レストランの2つのレストラン、ニュクス社 (Nuxe) のスパがあります。9ホールのゴルフ場は2023年オープン予定です。



© Domaine de Rochebois

[詳しくはこちら](#)

ボルドー (Bordeaux)

ボルドーのブドウ畑の中心メドック地区ポイヤックに、ベスト・ウェスタン (Best Western) メンバーで、ベスト・ウェスタン・プレミア・シリーズの4つ星ホテルがこの春オープン

カトリーヌ・パリノー (Catherine Parinaud、ボルドー中心部にある2つのベスト・ウェスタン・ホテル、バイオンヌとエシェ・オナのオーナー) は、歴史あるオテル・ド・フランス・エ・ダングルテルを取得しました。このホテルは、ポイヤックの中心部、ジロンド川 (la Gironde) の河口のほとり、マリーナの向かいに位置しています。8か月の全面改装をへて、2023年5月15日に、オープンしました。

新しいホテルには、庭園の中にある44の客室とスイート、レストラン、2つのテラス（河口側と庭園側）、ワインバー、ハمام（スチームサウナ）とサウナを備えたウェルネスエリア、庭園を見渡せる屋内プール（晴天時オープン）、2つの会議室とイベントルーム、駐輪場、駐車場が備わっています。



© Partdesanges

詳しい情報と予約は下記まで：
direction@hoteldefrance-angleterre.com

ミレジム・グループ (le groupe Millésime) が6月、シャトー・レオニャン (le Château Léognan) に、53室の5つ星ホテルをオープン。ボルドーの入り口、名高いペサック・レオニャン地区 (Pessac-Léognan) の中心部に位置する田園風のホテルです。



宿泊施設

2023年～2024年オープンの7施設



📍 コニャック (Cognac)

ホテル・ラ・ノーヴ・オテル・エ・ジャルダン、ルレ・エ・シャトー (Hôtel La Nauve à Cognac, Relais & Château) 2023年6月

4.5ヘクタールの壮大な公園内に立地し、コニャックの市街地からわずか数分の5つ星ホテル・ラ・ノーヴ・オテル・エ・ジャルダン、ルレ・エ・シャトーには、12のユニークで暖かみある客室、美食レストラン、ブラスリー、カクテル・バー、テラス、すばらしい庭園があります。田園地帯でひと息つくのにぴったりな場所です。ラ・ノーヴの領地を構成する19世紀の2つの建物は、地元シャラン地方の職人によって、きちんとした手順に従い修復されました。それぞれの建物にレストランがひとつずつあります。蒸留所の跡地に作られたブラスリー・デ・フラヌール (la Brasserie des Flâneurs) は、肩肘はらない雰囲気地元さんの高級食材を用いた洗練された料理を提供しています。邸宅のほうには、美食レストラン「ノート」(Notes)があり、シェフのアントニー・カルバロ (Anthony Carballo) が、わずか20人のみのゲストのために、親密な料理体験を提供します。レストランは、ナポレオン3世様式のサロンを思わせる雰囲気、エレガントで暖かい空気を生み出しています。レストラン以外にも、ラ・ノーヴには伝統的な洗練された飲み物が好きな方のためのカクテル・バーもあります。図書室はゲストに開放され、リラックスして文化を楽しめるスペースになっています。ポルドー近郊での週末が充実したものになること間違いありません。

[詳しくはこちら](#)



La Nauve - Façade - Lenaka



La Nauve - Salle de restaurant Brasserie des Flâneurs - Lenaka

📍 オレロン島 (Ile d'Oléron)

オテル・ル・グラン・ラルジュ-イル・ドレロン (Hôtel Le Grand Large - île d'Oléron) 2023年、新たな格付を取得

大規模な改装工事を経て、当ホテルは新たに5つ星のブティック・ホテル・コレクション (Boutique Hotels Collection) に格付けされました。

エレガントでモダン、洗練と名声を兼ね備えた、ル・コリュビュジエ建築の当ホテルは、この春、再オープンしました。31の客室は庭園または海に面しており、テラスやプライベート・ジャグジーを備えた部屋もあります。

新しいビーチ・レストランや、改装された屋外エリア、屋内プール、サウナとハمامを備えたリラクゼーション・スペースは、心地よいひと時を過ごすのにぴったりです。

[詳しくはこちら](#)



© Hotel Le Grand Large



宿泊施設

2023年～2024年オープンの7施設



📍 Bordeaux

モンドリアン・ホテル・ボルドー (Hôtel Mondrian à Bordeaux) 2023年10月オープン



このホテルは、フィリップ・スタルク (Philippe Starck) が手がけ、カルヴェ醸造所の跡地を、エレガントな出会いと交流の場に変貌させたことから生まれました。とても美しいテラスの向かいには、プールやスパ、バー、和食と西洋の風味を組み合わせせたモダンなレストランがあります。客室とスイートは全部で97室。世界の文化が交差したこの場所のコスモポリタンな顔を思わせる、親密で、心地よく、暖かみのある空間です。

[詳しくはこちら](#)

📍 ボルドー (Bordeaux)

ホテル・シェラトン・ボルドー・アエロポール (Hôtel Sheraton aéroport Bordeaux) 2023年1月オープン



ボルドー・メリニャック空港のすぐ下という理想的な場所にある4つ星ホテル、シェラトン・ボルドー・アエロポールは、ビジネスにもレジャーにも最適な立地です。最上階のウェルネス・エリアに加え、当ホテルはビジネス・センター「ブルー・バンブー」(Blue Bamboo)に直結しています。この会議場では、最新テクノロジーを備えた1,400 m²のモジュール式スペースで、ビジネスやプライベートのイベントを開催することができます。この6階建ての高級ホテルは、賑やかなビジネス街にありながら、多数のテラスと屋上プールを備え、静かで安らぎのある空間を提供しています。シェラトン・ボルドー・アエロポールは、空港、パレ・デ・Congres会議場 (Palais des congrès)、ボルドーとその近郊への公共交通機関から歩いて数分の距離です。ボルドーの芸術・歴史・ワイン・美食の遺産を見に行くのにも便利です。

[詳しくはこちら](#)



レストラン「エデン」(左)とスイートルーム(右) © Sheraton Bordeaux Airpor





©Matillac



©Alain Vacheron



©Pixabay



©Saint-Émilion

RÉGION
Nouvelle-Aquitaine
Comité Régional du
Tourisme
www.nouvelle-aquitaine-tourisme.com

f t i y in